

2025年 青谷地区公民館長だより 12月号



よら
い
や
ら
い
や

公民館



NPOによるまちづくり

コスモス展のイベントで、佐治町のNPO法人『さじ未来』理事長 小谷繁喜氏の講演会を行いました。NPO法人がまちづくりに大きく関わっているの、どのように関わっているのかを詳しく聴くことができました。

お話の中で感じたのが、「住民と行政の役割の変化」です。以前なら、どこの地域も一律に平等のサービスを受けるのは当然のことでしたが、今後はそれぞれの地区に必要なことに力を入れて必要ない所は抑えるという時代に入る（入っている）ということです。行政が主導すると、どうしても平等性が重視され、少しでも偏っていると不満が出ますが、NPOが行うことだから、必要なことを重点的に行えばよいという考え方です。

さらに驚いたのは、住民アンケートの内容です。行政がアンケートする場合、どこも似たようなものになりがちですが、さじ未来のものは、

◎現在生活するうえで困ること、不安なことは何？◎日常生活が不自由になったとき必要なサービスは何？◎10年後の生活を考えると不安なことは何？などと、独自の質問が目につきました。高齢化が進んでいる地域なので、墓の管理問題など、役に立つものばかりだと感じました。『NPO法人さじ未来』は、令和元年から地域づくり団体を巻き込んで、住民主体のまちづくりを進めてきたということです。実態が違うのでそのままでは青谷に当てはまらないでしょうが、まちづくりについて考えるのに、とても参考になりました。



とくさんの田んぼ日記

やっと米の姿になった！



6月号から連載してきた『田んぼ日記』ですが、脱穀を済ませてもみを精米機に入れ、白米にしました。精米機から出てきた米を見たら、感無量……。やっと米の姿にまで辿り着いたという感じです。野菜づくりは素人なりにいろいろやってきましたが、米づくりは全く初めてだったので、いろんな工程があって米になるのだということを改めて感じました。いろいろな機械や道具も必要だし、広い土地や豊富な水も必要なので、『野菜とは次元が違う』というのが率直な感想です。

さて、精米した米を炊飯器に入れようとしたら、何と米でないものが混じっているではありませんか。バインダーで刈り取るときに、草やゴミが混じってしまったのか……。よく分かりません。丁寧に取り除いて炊飯。

できたご飯は、少しだけ粒が小さい感じがしました。草の勢いに負けたのか？でも、味は確かにおいしい！苦労して自分で作ったから美味しく感じるのかも知れませんが…。

シリーズ 知っていましたか、青谷のこと？

復元された弥生人、3人の名前、言えますか？

復元された最初の弥生人と言えば、何といても「青谷上寺朗」ですね。そっくりさんコンクールまであって全国的に有名なので、もう知らない人はほとんどいないでしょう。

では、次に復元された男の子と3番目に復元された女性・・・3人とも言えますか？

青谷に関係する人なら言えるとは思いますが、改めて確認しておきましょう。

1人目 上寺朗（かみじろう）

弥生人の頭蓋骨から最初に復元されました。弥生人そっくりさんコンクールが開催されて大阪の吉田昌弘さんがグランプリとなり、イベントの度に青谷に来てくださっています。有名になったので、青谷と言えば上寺朗と言われるまでになりました。なお、25年ほど前に弥生人の脳みそが見つかったときの頭蓋骨は上寺朗のものだそうです。

2人目 来渡（らいと）

当初は女性の弥生人を復元しようとして作業をしていたそうですが、DNA鑑定した結果、男性のものだということが分かり、急きょ子どもの弥生人（男の子）ということで復元されました。DNA鑑定で太古の骨からでもいろいろな情報が分かる時代になったということですね。

3人目 琴海（ことみ）

今度こそはと、女性の頭蓋骨の顔を復元しました。30代から40代の女性だということです。名前の決め方は、県内の全ての小学校に協力を依頼して、本物の選挙と同じように、4人の候補者名をあげて投票してもらい、「琴海」に決まったということです。

青谷かみじち史跡公園のガイダンス棟（入場無料）に、3人の頭蓋骨と復元された顔が並べて展示してあるので、是非見て来てください。



上寺朗だけは、脳みそを取り出したときの切れ目が入っている。

来渡君は、額に刺し傷がある。子どもなのに戦いで傷ついたか…？

琴海さんに傷は無い。戦いに参加していないかどうかは不明。

おわりに

先日、ボランティアの方と一緒に川土手の草刈りをしました。以前にも何回か書きましたが、今回は全くと言っていいほどペットボトル等のごみが捨てられていませんでした。いろいろな要因があるでしょうが、青谷の人及び青谷を訪れる人のモラルがいいのだと思います。シンガポールのように法律がなくても、「誰もごみを捨てない町」と言われるようになると、気持ちいいですね。

公民館の周りにごみは落ちていません。たまに、たばこの吸い殻が落ちていますが、すぐに処分します。